

鳥羽道

鳥羽道の概要

鳥羽道は、伊雑宮がある志摩市磯部町の上之郷から山田・杵掛・五知・松尾・船津を経て鳥羽本町に入り、峠御門で城下を出て、堅神・堂坂峠・朝熊・一字田・楠部を経て宇治山田に至る。磯部と鳥羽と宇治山田を結ぶ地方道である。

上之郷から鳥羽へと至る道は、上之郷く杵掛間を除き国道167号にほぼ重なり、青峯山を右手に仰ぎながら、のどかな集落が点在する道がつづく。五知を越えてしばらくすると、ゆるやかな傾斜の坂道が伸びている。これが五知峠で、志摩市磯部町と鳥羽市の境界となっている。鳥羽市の松尾は青峯山正福寺へ参る青峯道のほか、沿岸の浦村や相差への道の起点ともなっており、往来する人も多かっただろう。

松尾を過ぎ、加茂に入ると側を流れる加茂川の幅が広くなり、河口も近くなる。このあたりは戦国時代、九鬼水軍の鳥羽支配の拠点となった「田城」が江戸初期まで築かれていた。船津は文字通り港がかつてあったところで、加茂から鳥羽本町への通行や物資の輸送には、陸を行くよりここから船を利用する方が多かったという。

鳥羽本町は、かつて城下町だった名残を偲ぶように整然とした通りが続く。鳥羽小学校のある高台を中心とした丘陵は、かつて九鬼氏が鳥羽城を築いた地。鳥羽城は水軍の本拠地として海に面して築かれ、東北中央に大手門が海に面し、外堀に海水を流入させていた。現在は石垣の一部が、校庭の周囲に残っている。「堀の上通り」を通り、鳥羽道は、城跡を右に仰ぎながら北西に直進し、本町口門で左折し、峠番所を経て堅神・堂坂峠に至る。

近世、廻船の寄港地だった鳥羽にあって、陸上交通でもっとも重要なのは、堂坂峠による伊勢との交通だった。伊勢は、鳥羽の主要産物である海産物の消費市場であるとともに、鳥羽で不足していた米の仕入先でもあり、鳥羽道は、地元の人々にとって重要な生活道だった。

また、伊勢の庶民にとって、鳥羽道は信仰と観光をかねた道でもあった。すなわち伊勢を出発し、逢坂越えて伊雑宮に参拝して上之郷で一泊。翌朝、青峯山正福寺に参詣して松尾か岩倉で昼食をとり、鳥羽・堅神を経て朝熊村で夕食、伊勢に帰宅するのが典型的なコースだったという。





伊勢神宮から 鳥羽道 伊勢神宮へと向かう道。

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

歩く速さで見えてくるものがある。
 歩くからこそ出会うものがある。
 いにしへの旅人の速さで、視点で
 歴史の道をたどってみよう。

◆ 目次	鳥羽道の概要	鳥羽道のルート
(9) 桶部	2	36
(8) 朝熊	1	34
(7) 朝熊	1	32
(6) 堅神	1	30
(5) 鳥羽	1	28
(4) 船津	1	26
(3) 松尾	1	24
(2) 五知	1	22
(1) 上之郷	1	20
鳥羽道の概要		18
鳥羽道のルート		16

(1) 上之郷

(志摩市磯部町上之郷～沓掛)



4 庚申塚
享保14年(1729)のもの。安国寺手前の左側の椎の樹の根本にある。



5 標柱
「神崇山安国寺 沓掛区」と刻まれている。



3 青峯山の眺め



2 山田を行く道

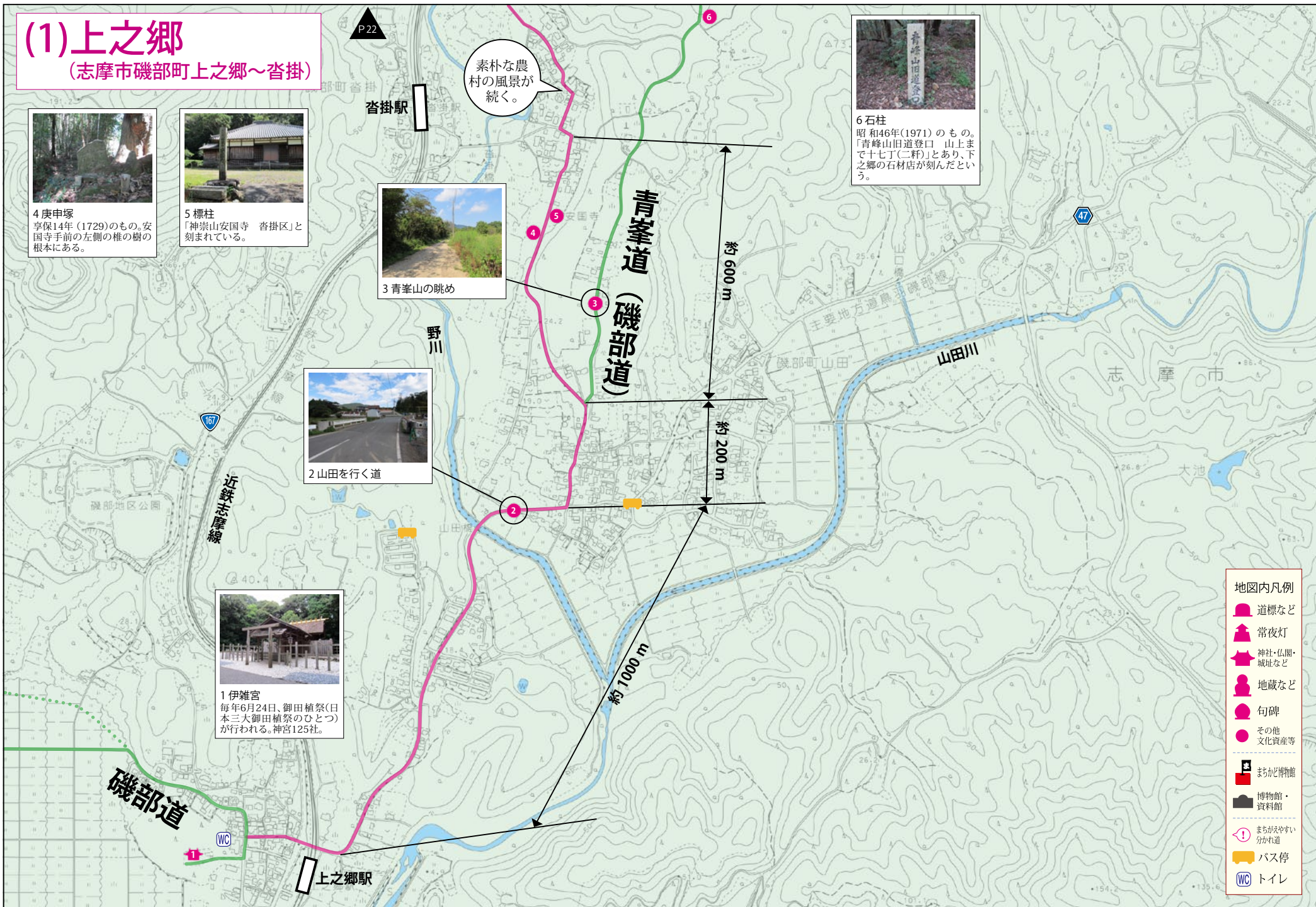


1 伊雑宮
毎年6月24日、御田植祭(日本三大御田植祭のひとつ)が行われる。神宮125社。

素朴な農村の風景が続く。



6 石柱
昭和46年(1971)のもの。「青峰山旧道登口 山上まで十七丁(二軒)」とあり、下之郷の石材店が刻んだという。



- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

(2)五知

(志摩市磯部町沓掛～鳥羽市白木町)



3 白木を行く道

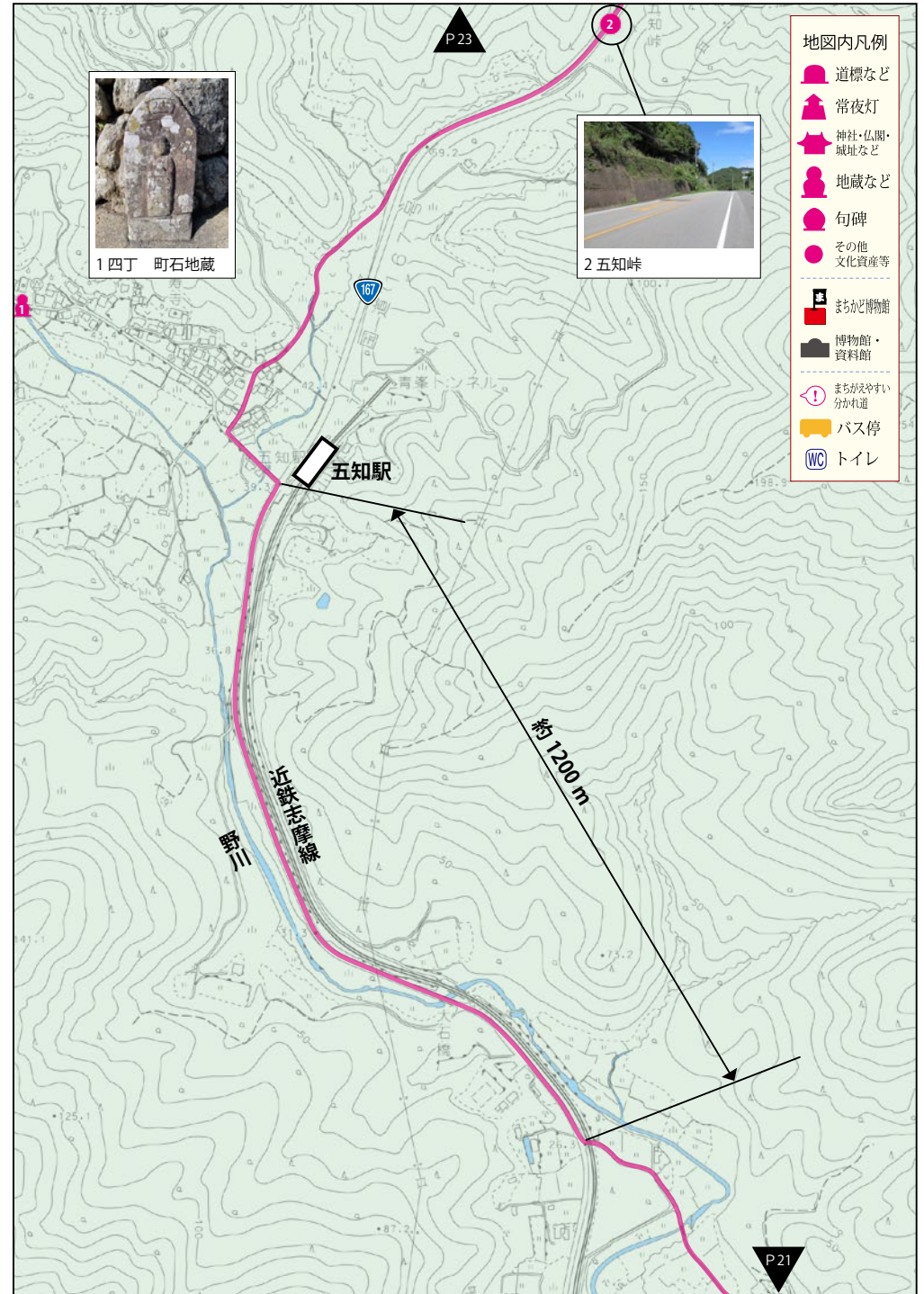


4 地蔵

約1650m

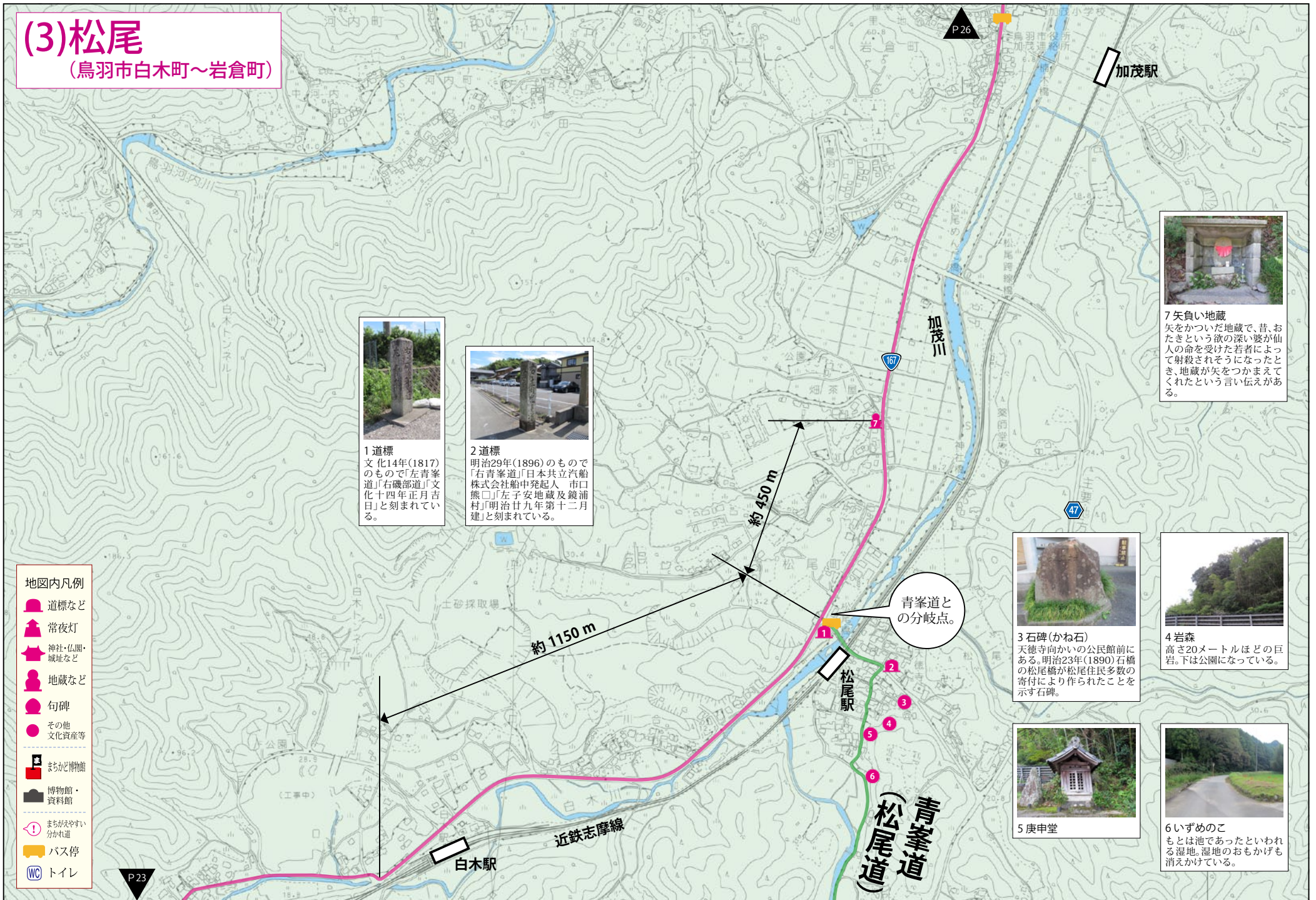
なだらかで、まっすぐに伸びる峠道。

P22



(3)松尾

(鳥羽市白木町～岩倉町)



1 道標
文化14年(1817)のもので「左青峯道」「右磯部道」「文化十四年正月吉日」と刻まれている。



2 道標
明治29年(1896)のもので「右青峯道」「日本共立汽船株式会社船中発起人 市口熊口」「左子安地蔵及鏡浦村」「明治廿九年十二月建」と刻まれている。



7 矢負い地蔵
矢をかついだ地蔵で、昔、おたきという欲の深い婆が仙人の命を受けた若者によって射殺されそうになったとき、地蔵が矢をつかまえてくれたという言い伝えがある。



3 石碑(かね石)
天徳寺向かいの公民館前にある。明治23年(1890)石橋の松尾橋が松尾住民多数の寄付により作られたことを示す石碑。



4 岩森
高さ20メートルほどの巨岩。下は公園になっている。



5 庚申堂



6 いずめのこ
もとは池であったといわれる湿地。湿地のおもかげも消えかけている。

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

(4)船津

(鳥羽市岩倉町～鳥羽)



9 西念寺

8 旧広野家住宅(角屋)主屋
国登録有形文化財



7 赤崎地蔵(3体)
本性寺跡から坂道をのぼった山の中腹にある。



6 赤崎神社
神宮125社

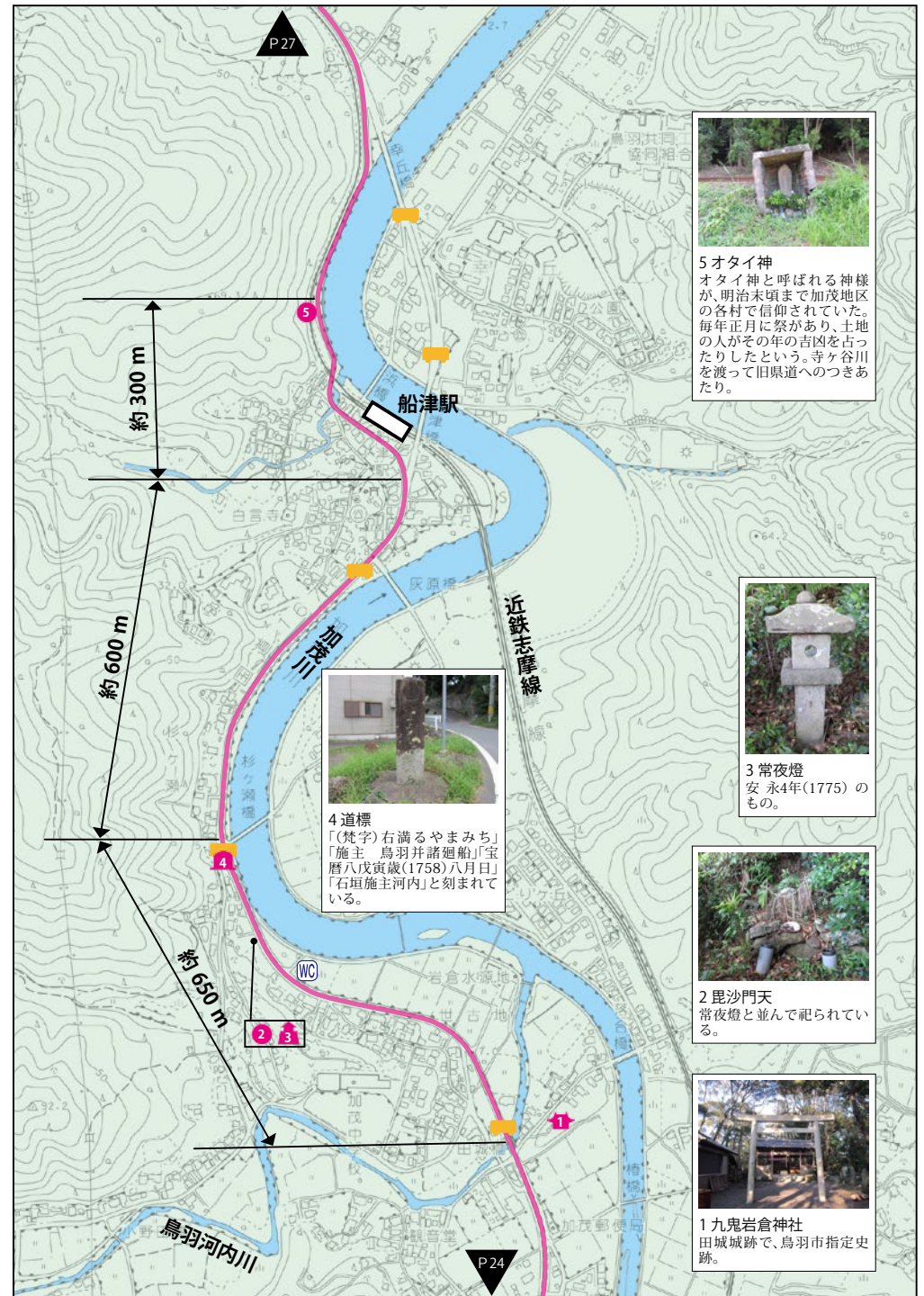
地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

雑木におおわれた山道を歩く。

約800m

約500m



5 オタイ神
オタイ神と呼ばれる神様が、明治末頃まで加茂地区の各村で信仰されていた。毎年正月に祭があり、土地の人がその年の吉凶を占ったりしたという。寺ヶ谷川を渡って旧県道へのつきあたり。



3 常夜燈
安永4年(1775)のもの。



4 道標
「(梵字)右満るやまみち」「施主 鳥羽并諸廻船「宝曆八戊寅歳(1758)八月日」「石垣施主河内」と刻まれている。



2 毘沙門天
常夜燈と並んで祀られている。



1 九鬼岩倉神社
田城城跡で、鳥羽市指定史跡。

約300m

約600m

約650m

(5)鳥羽

(鳥羽市鳥羽～堅神町)



22 道標
「右いせ参宮二見ヶ浦道 是より二見へ四十丁」「左朝熊道」「明治廿六年三月建立 献二見宿志中」と刻まれている。



21 堅神神社
西ノ辻橋を渡った付近。



17 源五郎地蔵



14 本照寺
真宗高田派の寺院。



20 地蔵
「三界萬霊」と刻まれている。



16 峠御門(番所)跡
三基の碑がある。右の碑には、「元和九亥年(1623)七月廿二日 海月良雲」と刻まれている。中央の碑は文字なし。左の碑には「寛永五年戊辰(1628)五月十七日西岸浄本」と刻まれている。



13 賀多神社(八王寺)



19 道標
嘉永3年(1850)のもので、西ノ辻橋付近にある。「左あさま可たけ 内宮へかけぬ希」と刻まれている。



15 常安寺
九鬼守隆が、父嘉隆の冥福を祈るため修造寄進したもの。多くの文化財が残されている。



12 遊廓跡



18 山口誓子句碑



11 鳥羽みなとまち文学館



10 松尾芭蕉句碑



7 門野幾之進記念館



4 鳥羽水族館



9 伊良子清白の家



3 鳥羽城跡
県指定史跡



8 鳥羽歴史文化ガイドセンター



6 山口誓子句碑



5 真珠博物館(ミキモト真珠島)



1 金胎寺
伊勢西国三十三所観音霊場第6番札所



2 松尾芭蕉句碑

格子戸の窓など昔の面影を残した家が多く残っている。

約650m

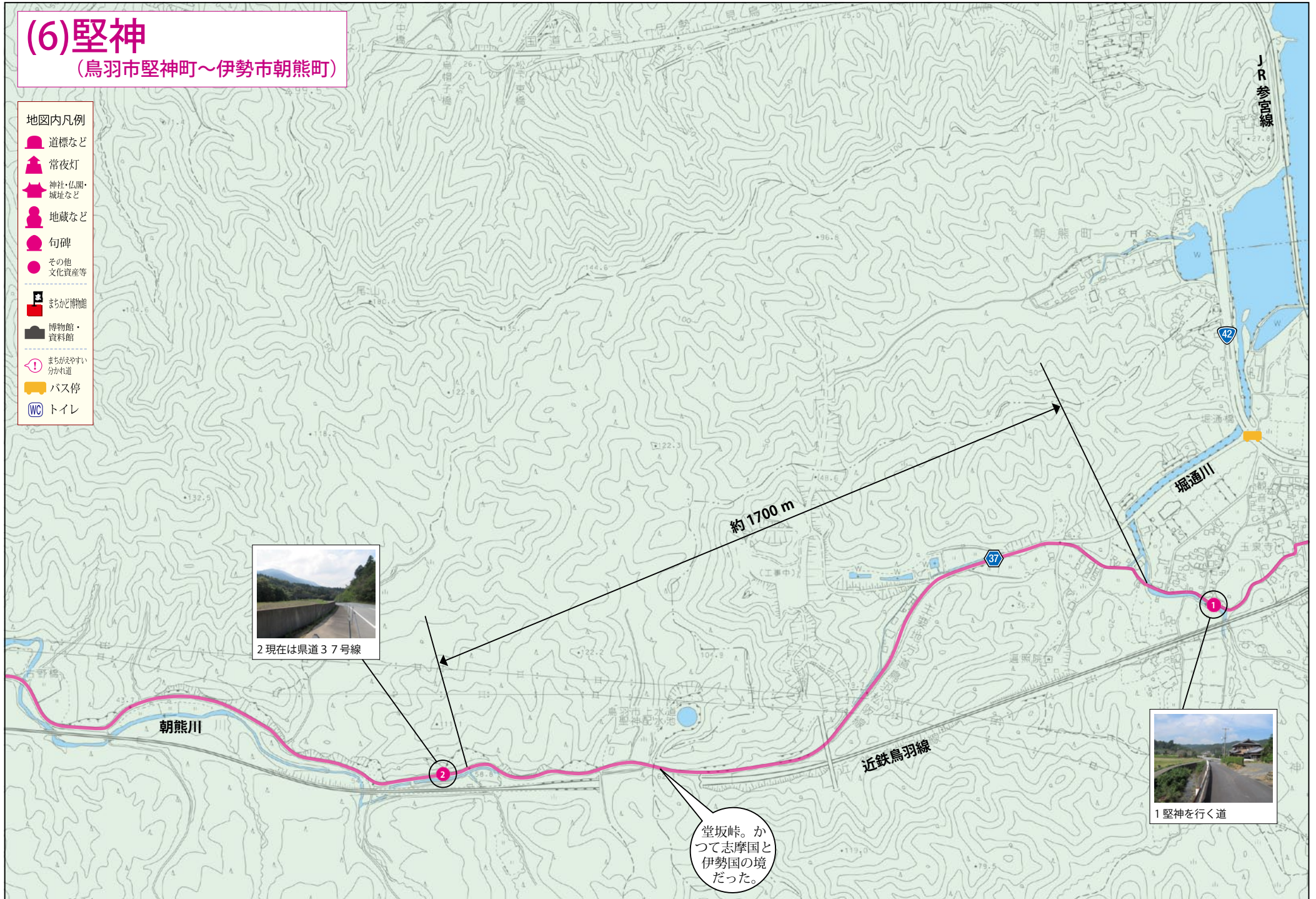
- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちがど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがしやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

(6) 堅神

(鳥羽市堅神町～伊勢市朝熊町)

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがくやしい分かれ道
- バス停
- トイレ



(7)朝熊・1

(伊勢市朝熊町)

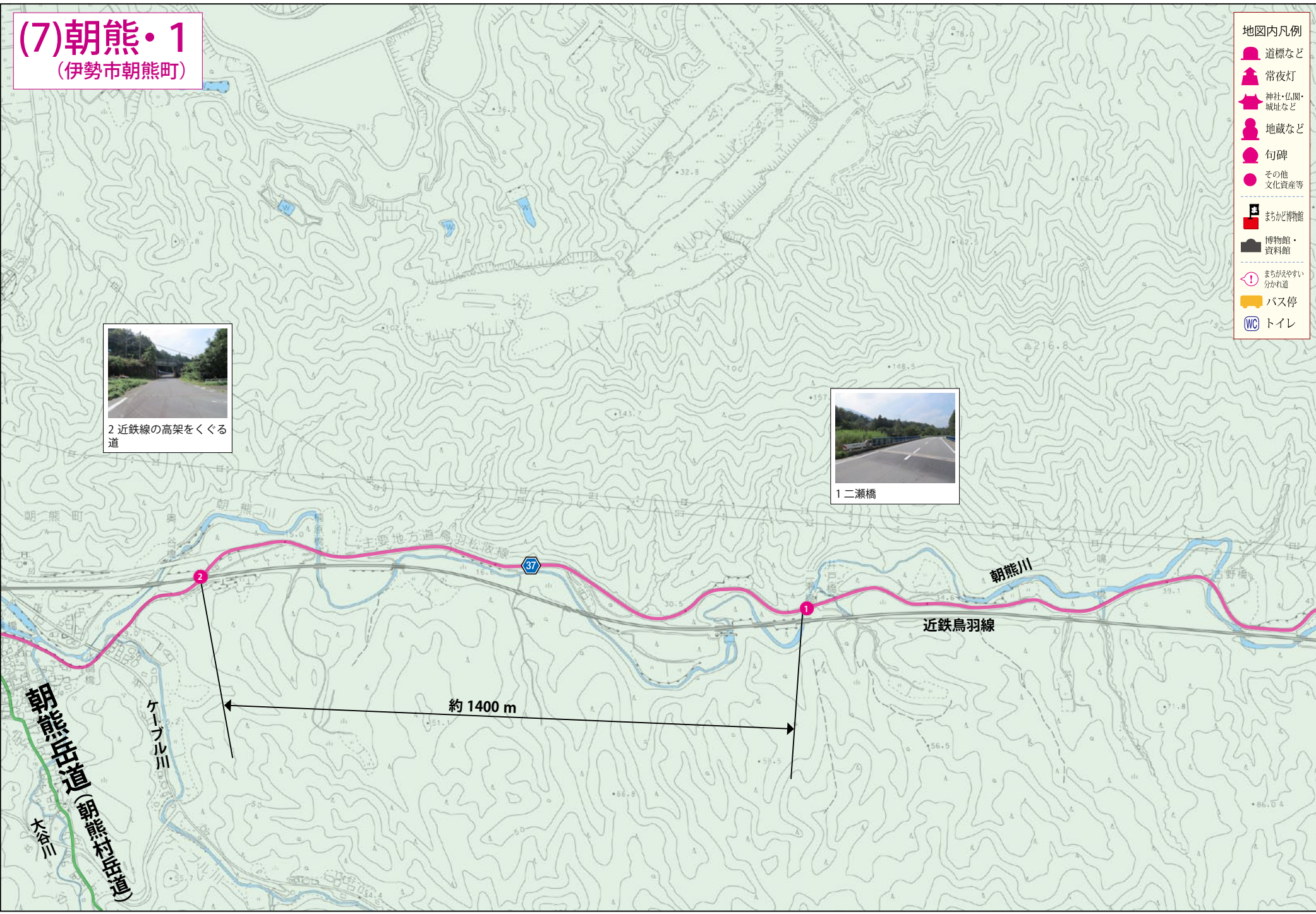
- 地図内凡例
-  道標など
 -  常夜灯
 -  神社・仏閣・城址など
 -  地蔵など
 -  句碑
 -  その他文化資産等
 -  まち博物館
 -  博物館・資料館
 -  まちがえやすい分かれ道
 -  バス停
 -  トイレ



2 近鉄線の高架をくぐる道



1 二瀬橋



(8)朝熊・2

(伊勢市朝熊町～楠部町)

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地藏など
 - 句碑
 - その他文化遺産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ



9 西入六千日参結願碑
三角状の自然石。「寛分三日の絵癸卯(1663)年七月日 奉参詣三宮六千日結願 供養 四之宮河原住人西入敬白」と刻まれている。



10 神宮神田



4 朝熊第一之拝所
内部に千体仏がある。



3 庚申碑
建立年代は不明だが、江戸末期かと思われる。



2 河原地蔵
元禄2年(1689)のもの。高さ約60cm。



1 道標
安永8年(1779)のもの。朝熊山金剛証寺に至る、朝熊岳道と交差する、左半分がコンクリートで固められている。西面「右志州 北而「安永八己亥 念年十□□□」と刻まれている。



5 地藏堂
中に3体の地藏が祀られている。



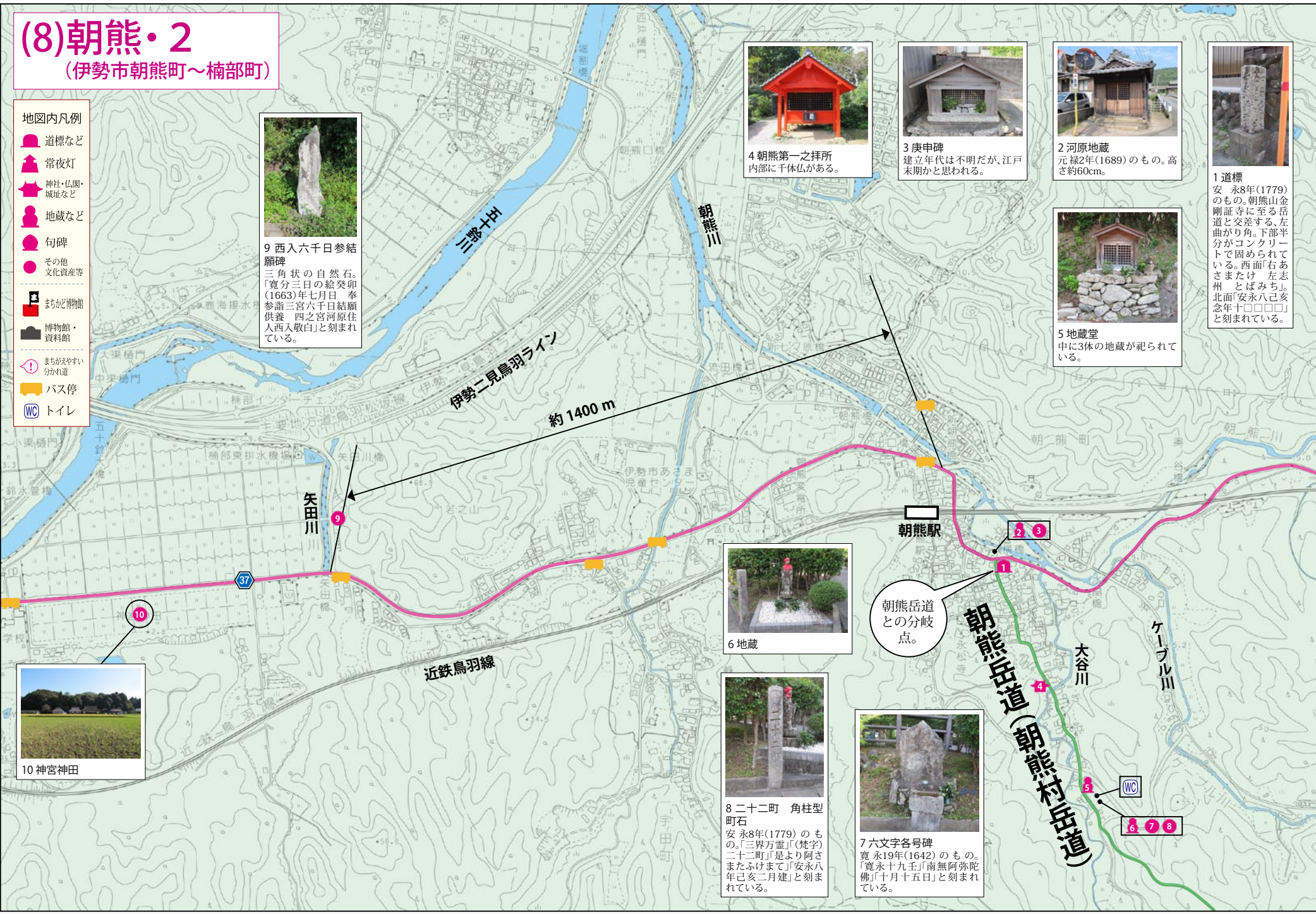
6 地藏



8 二十二町 角柱型町石
安永8年(1779)のもの。「三界万霊」(梵字)二十二町「是より阿さまたふけてまで」「安永八年己亥二月建」と刻まれている。



7 六文字各号碑
寛永19年(1642)のもの。「寛永十九王」「南無阿弥陀佛」「十月十五日」と刻まれている。



朝熊岳道との分岐点。

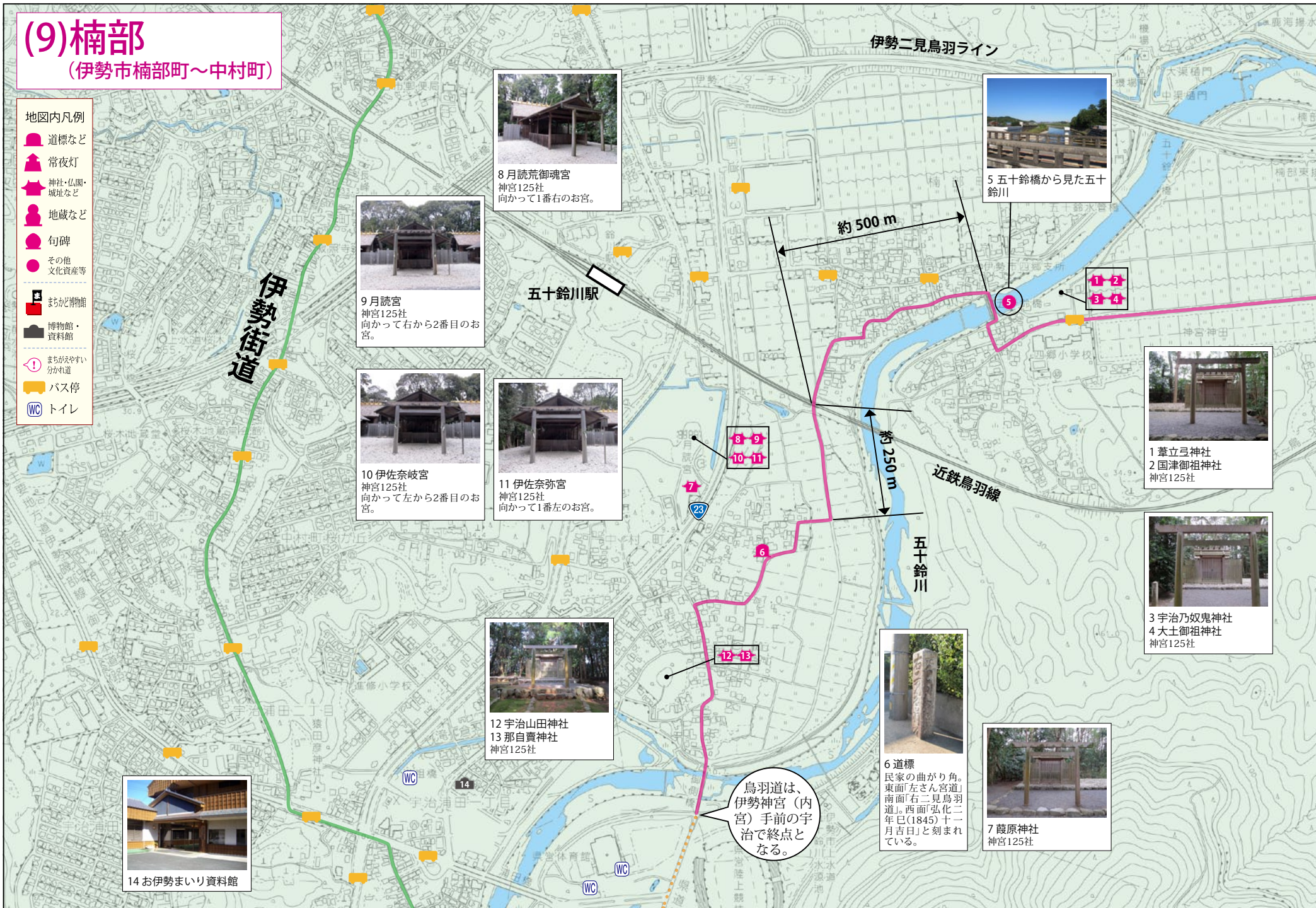
朝熊岳道(朝熊村出道)

WC

(9) 南部

(伊勢市南部町～中村町)

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ



8月読荒御魂宮
神宮125社
向かって1番右のお宮。



9月読宮
神宮125社
向かって右から2番目のお宮。



10伊奈岐宮
神宮125社
向かって左から2番目のお宮。



11伊奈弥宮
神宮125社
向かって1番左のお宮。



12宇治山田神社
13那自賣神社
神宮125社



14お伊勢まいり資料館



5五十鈴橋から見た五十鈴川



1墓立豆神社
2国津御祖神社
神宮125社



3宇治乃奴鬼神社
4大土御祖神社
神宮125社



6道標
民家の曲がり角。東面「左さん宮道」南面「右二見鳥羽道」。西面「弘化二年巳(1845)十一月吉日」と刻まれている。



7葎原神社
神宮125社

鳥羽道は、伊勢神宮(内宮)手前の宇治で終点となる。

約500m

約250m

五十鈴川

6道標

7葎原神社

14お伊勢まいり資料館

37